

令和4年度自己評価結果公表シート

宝珠学園幼稚園

1. 本園の教育目標

本園は、早期における人格形成と倫理観の確立を目標に「こころ」を重視した保育活動を行っています。努力する心と感動する喜びをはぐくむ体育・音楽教育、基礎能力を遊びの中から自然に引き出す知育教育など、バランスある保育活動を展開しています。

- ◇敢為進取 何でも積極的に進んで事にあたる
- ◇責任自主 自分のことは自分です
- ◇誠実勤労 何事にも真心を持って骨惜しみしない

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

より充実した保育ができるよう、よい人材がいれば積極的に教職員として採用し、当園の教育目標を理解し活躍できるよう、園全体で育成していくことを目標とする。
よりよい保育環境作りのために、感染対策や安全管理を徹底して行う。

3. 評価項目の達成及び取組状況

| 評価項目 | 結果 | 取組状況 |
|--------------|----|---|
| 人材の確保と育成 | B | 今年度は中途採用による人材補強には至らず、新卒採用の教員1名にとどまったが、園全体でこの教員の指導とフォローに努め、1年目から担任として活躍してもらうことができた。 |
| 感染対策と保育のバランス | A | 新型コロナウイルスのために制限していた保育活動の一部を、感染対策を万全に行いながら再開することができた。 |
| よりよい保育環境作り | A | 遊具や教室内外の設備の安全点検は引き続き実施しており、塀の破損をいち早く発見し補修工事を実施することができた。 また、防犯カメラを各教室に設置し、より安全な保育環境を作ることができた。 |
| 情報の発信 | B | おたよりやホームページなどを活用し、園の取り組みや、子どもの様子を保護者に伝えるよう努めた。 |

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

| 結果 | 理由 |
|----|--|
| B | 本年度の目標や計画の達成のためにその趣旨を理解し、全教職員がおおよそ保育内容の向上に努めることができた。 |

5. 今後取り組むべき課題

| 課題 | 具体的な取り組み方法 |
|--------------|--|
| 人材確保のための環境整備 | 今年度末に40年間当園の教育に尽力してくれた教員が定年退職した。この教員のように経験を積み重ねて長く活躍できる人材を確保するために、よりよい労働環境をいかに整えるかが課題。 |
| 感染対策の継続と相互理解 | アフターコロナの社会となって、制限のあった保育活動を再開するにあたり、基本的な感染予防は今後も継続していくが、各家庭における感染対策への考え方の違いを理解し、またいかにして理解してもらえるようにするかが課題。 |

6. 学校関係者の評価

安全対策をしっかりと行っており、安心して子どもを預けることができます。
より充実した保育のために今後も人材の確保と育成に努めてもらいたい。
その外は特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められる。

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると、認められている。